

平成29年度 教育行政執行方針

奥尻町教育委員会教育長
石島 孝司



6月8日に開催された「平成29年第2回奥尻町議会定例会」において、石島教育長の平成29年度における「教育行政執行方針」が示されました。
その内容についてご紹介します。

はじめに

今日、グローバル化や高度情報化が一層進展する一方で、将来の予測が難しく、先行きが不透明な時代を迎えています。

今後益々人口の減少と高齢化が進むことから、地方創生の実現や奥尻町を持続的に発展させるためには、自らが変化し奥尻町の将来を創り出すという主体性を持った人づくりや、

町の歴史や文化に誇りを持って活躍できる学びづくりが重要であります。

そのような中、去る2月伝統ある奥尻中学校と青苗中学校の閉校式典が挙行され、多くの卒業生や関係者が出席し別れを惜しましましたが、4月からは両中学校を統合した新生奥尻中学校が高校敷地内に誕生し、奥尻高等学校との連携型の中高一貫教育が開始しました。

奥尻高等学校では『まなびじま「奥尻」プロジェクト』を推進しており、町立2年目となる今年度は町外から5名の入学生を受け入れ、新たな取り組みが行われております。

新生奥尻中学校と町立となった奥尻高等学校をよりよい学びの場とし、新たな伝統を築きあげていくためには、教育関係者のもとより地域の方々の御支援が不可欠であり、町ぐるみの教育活動の推進が求められております。

教育委員会としては、町長が主宰する総合教育会議と連携強化を図り、教育大綱の教育目標である「ふるさ

とに学び、次代を担うあたたかい人づくり」を進めてまいります。

学校教育

主な施策のうち、はじめに学校教育について申し上げます。

文部科学省により本年3月に告示された次期学習指導要領に基づく、平成32年度以降の教育課程の編成が喫緊の課題となりますが、新しい学習指導要領のキーワードである「社会に開かれた教育課程」（カリキュラム・マネジメント）の実現と「主体的・対話的で深い学び」（アクティブラーニング）の視点を立った授業改善などが重要な柱となります。

全面実施までの移行期間においても「もろさない」「ずらさない」「ゆるまない」ように奥尻町校長会と連携し、子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体の向上をより具現化する教育環境づくりに努めてまいります。

第一は「確かな学力の育成等」についてであります。

子どもたちの学力は全国学力学習状況調査の結果から、教科でのばら



つきはあるものの、比較的安定している状況にあります。今後も家庭学習の充実と放課後学習の実施やさらなる授業改善の取り組みを行うなど、確かな学力を育成してまいります。

小学校での土曜授業と、生活習慣等の定着を図る通学合宿「奥尻子どもナイトミーティング事業」は継続実施いたします。

また、小学校での英語教育の早期

化や中学校・高校での魅力ある効果的な英語授業の実現のため、外国語指導助手（ALT）を配置し、英語教育の充実に努めてまいります。

現在、中学校で進めている「ICT活用教育促進事業（～H29年度）」と「中学校における遠隔授業等の効果検証事業」（H28年度～）を継続実施し、ICTを活用した教職員の授業研修や遠隔授業の有効性等の検証などに取り組んでまいります。

さらに、教育上特別な支援を必要とする子どもが増加の傾向にあることから、幼稚園や町等の関係機関と連携・協力を図り、一人一人の実態とニーズを把握し個別の指導計画や支援計画に基づいた、きめ細かな指導の充実に努めてまいります。

第二は「豊かな心を育てる教育の推進」についてであります。

子供たちに生命を大切にすることや他人を思いやる心、美しいものや自然に感動する心、公共心や規範意識などをしっかりと育むためには、他者とのふれあいを重視した教育活動が極めて重要です。

小学校では、平成30年度から道徳が特別の教科（道徳科）となること

から、学校における道徳教育の充実を図り、家庭での生活習慣のリズム化、地域における自然体験やボランティア活動など地域住民の参加や協力を得ながら一層の充実を図ってまいります。

また「奥尻町いじめ・不登校等対策委員会」を開催するなど各学校の取り組み状況、実態把握、協議等を通じ、情報の共有化や子ども会議を開催し関係機関との密接な連携を図ってまいります。

第三は「信頼される学校づくり」についてであります。

人口減少や少子化が進行する中にあっても、学校規模や地域にかかわらず、教育の質の維持・向上を図ることが重要です。

このため地域に開かれ、信頼される学校を実現するためには、学校が自らの教育活動について積極的に説明責任を果たすとともに、保護者や地域住民の意見や要望を真摯に受け止め、創意工夫を生かした特色ある学校づくりを進めることが大切です。

この一つとして、学校運営の効率化や教職員の負担軽減を図るため「校務支援システム」を奥尻中学校

で先行的に導入し、業務短縮により生まれた時間を子どもたちと向き合う時間に充て、きめ細かな指導の充実を図ることとしております。

また、学校は勉強し学力を向上させる所でもあり、保護者や地域からの信頼と協力を得て成り立っていることから、その信頼を確かなものとするためにも各種校内研修資料を積極的に活用し、教職員一人一人の規範意識を高めてまいります。

第四は「魅力ある高校づくりの推進」についてであります。

高校の魅力を一層高めるため、現在進めている『まなびじま「奥尻」プロジェクト』を行政と高校が丸となって取り組むとともに、生徒確保対策については、フェイスブックやホームページによる学校情報の発信やPRを強化し、道内外での学校説明会や体験入学などの生徒募集活動をきめ細かく行つてまいります。

また、高校と中学校との連携を強化し、6年間の系統だった教育課程の編成、上級生が下級生を支援するメンタリングシステムの導入、部活動での合同練習など中高一貫教育の推進を図つてまいります。

第五は「地域全体で子どもたちの学びを支援する取組の推進」についてであります。

学校は保護者や地域住民の意見や要望を的確に把握し、組織的、継続的に学校運営の改善を図り、保護者や地域住民の理解を深め、地域に開かれた学校づくりを推進することが求められております。

そのため、文部科学省が積極的に推進し、市町村での導入・設置が努力義務化され、地域づくりの有効な手立てでもある「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を平成30年度以降の導入に向けて準備を進め、学校、保護者、地域が知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させる「地域全体で子どもたちの学びを支援する取組」を推進してまいります。



社会教育

次に、社会教育について申し上げます。

本町の社会教育の推進につきましては、町民ひとりひとりが今後ますます主体的・能動的に町を活性化させ、郷土を愛し次代の子どもたちの育成を図り、持続可能で潤いのあるふるさとづくりを進めていくため、「第8次奥尻町社会教育中期5カ年計画」と「奥尻町子どもの読書活動推進計画」を基に展開してまいります。

教育執行方針

まず「第8次奥尻町社会教育中期5カ年計画」では「自発的に参加し学び、地域の活性化を図る社会教育活動の推進」、「健康で充実した生活を営むため、誰もが気軽に参加できる社会体育活動の推進」、「自然と文化を活かし、豊かな心を育てる地域文化の創造」の3つの方向性を軸に、

- ①「家庭教育」、②「青少年教育」、③「成人教育」、④「社会体育」、⑤「歴史・文化」、⑥「施設運営」の6つの領域による社会教育の推進を図ってまいります。

これらの活動をより発展させるた

め、各社会教育関係団体や家庭教育サポート企業など幅広い地域住民等の参画による地域全体で子育てを支援する体制づくりを推進し、地域の活性化及び教育力の向上を図ることを目的に「奥尻町地域学び支援ネットワーク」を設置します。

今年度は「おくしりチャレンジスクール」と題し、親子の体験活動や青少年の地域活動など、様々な社会体験活動を展開するとともに、学校や地域からの依頼を受けて、教育支援活動を行ってまいります。

また「歴史・文化」において、昭和51年、52年に青苗遺跡から出土した擦文時代の土器と骨角器（119点）がこの度、北海道有形文化財に指定されました。

これは「新羅之記録」、「青苗砂丘遺跡」に次いで奥尻町では3例目、考古遺物では初めてで、同部門では



繪山管内でも2例目となります。

この新たに加わった奥尻町の宝物を、奥尻町海洋研修センターで広く町民に公開するとともに、学習機会の提供をとおして、歴史・文化活動の充実を図ってまいります。

次に「奥尻町子どもの読書活動推進計画」では、子どもたちの表現力や想像力を豊かなものにし、生きる力を育むために奥尻町海洋研修センター図書室での取り組みを軸に家庭、学校、地域と連携し、様々な活動を展開し、読書活動の推進を図ってまいります。

具体的な事業内容としては、絵本の読み聞かせ団体の育成、乳幼児を対象に読み聞かせを行う「ブックスタート」事業、子どもたちの読書意欲の増進を図る「絵本の水族館」事業、図書室の利用促進を目的に一定期間カフェとして開放する「うみいろCafé」事業などを実施してまいります。

以上、平成29年度の教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

これまでの小中学校の統合や奥尻高校の町立移管など、一連の教育環



境の充実改善につきましては町長をはじめ町議会の深いご理解とご指導、保護者や地域の皆様の御協力をいただき、一步一步ではあります但し諸課題の解決に向かっていくところであり、心から感謝を申し上げます。

教育委員会といたしましては、奥尻の子どもたち一人一人がふるさと奥尻に誇りと愛着を持ち、未来に向かってたくましく成長していくことができるよう、教育委員長はじめ、各教育委員ともども最善の努力を尽くしてまいります。

議員の皆様並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。